

**2014 年 3 月改訂（第 4 版）

*2008 年 6 月改訂（第 3 版）

貯法：気密容器に入れ、火気を避けて保存

薬効分類名：外皮用殺菌消毒剤

販売名：イソプロパノール「アマカス」

日本標準商品分類番号	
872615	
承認番号	(61AM)1985
薬価収載	1986 年 3 月
販売開始	1986 年 3 月
再評価結果	1983 年 4 月

日本薬局方 イソプロパノール

Isopropanol

【 禁忌 】

次の部位には使用しないこと
損傷皮膚及び粘膜[損傷皮膚及び粘膜への使用により
刺激作用を有する。]

*【 組成・性状 】

本品は、1 mL 中日本薬局方イソプロパノール 1 mL を含む。無色澄明の液で、特異なにおいがある。水、メタノール、エタノール（95）又はジエチルエーテルと混和する。燃えやすく、揮発性である。

比重 d_{20}^{20} : 0.785 ~ 0.788

【 効能・効果 】

手指・皮膚の消毒、医療用具の消毒

*【 用法・用量 】

通常イソプロパノールとして、50 ~ 70 %液を用いる。

*【 使用上の注意 】

1．重要な基本的注意

- (1) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (2) 広範囲又は長時間使用する場合には蒸気の吸入に注意すること。
- (3) 同一部位に反復使用した場合には脱脂などによる皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

2．副作用

使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明	注意
過敏症	発疹等	このような症状が現れた場合は使用を中止すること
皮膚	刺激症状	このような症状が現れた場合は使用を中止すること

3．臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤をおこすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

4．適用上の注意

(1) 投与経路：

外用にのみ使用すること

(2) 使用時：

- 1 血清、膿汁などの蛋白質を凝固させ内部にまで浸透しないことがあるので、医療用具などに用いる場合には十分に洗い落としてから使用すること。
- 2 引火性があるため、火気、静電気及び電気メスの使用時には十分注意すること。

【 薬効薬理 】

本品は、使用濃度において栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）酵母菌、ウイルスなどには有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌など）及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

[包装単位] 16 L

[文献請求先] 甘糟化学産業株式会社 学術部

[製造販売元] **東京都中央区日本橋本町 1 - 5 - 9
甘糟化学産業株式会社